

特長

バーコードを活用し作業を簡略化

注文・入庫・出庫の各処理では、バーコードで試薬を指定します。GS1-128規格のバーコードがある試薬は、バーコード読込により、試薬選択、使用期限・Lot入力が簡単に行えます。

多彩な選択方法

バーコードは、GS1-128規格以外に、JAN規格、特殊規格にも対応しています。または、入庫時に印字した試薬管理ラベルのバーコードの読み込み、6桁の試薬管理IDの入力、画面選択リスト、及び文字検索と状況に応じた方法で、該当試薬を簡単に選択できます。

使用する最小単位ごとに使用状況を管理

1つの包装(箱)の中に複数のカートリッジ(ボトル)が入っている場合、実際に使用する単位で使用状況が把握できます。(試薬の包装内容により任意の設定可能)

例) 1箱の中に3カートリッジが入っている試薬の場合、2カートリッジを出して在庫0となっても、あと1カートリッジが残っていることを確認できます。

管理ID	試薬名称	入庫日	使用期限	LotNo	入庫数	在庫数	内訳	分類	規格容量	品番
240090	ルミバリス AFP-N免疫反応カートリッジ	2020/09/21	2020/09/21	123	4	4		免疫(ルミバリス)	14テスト×3	292846
240090	ルミバリス AFP-N免疫反応カートリッジ	2020/09/21	2020/09/30	123	2	2		免疫(ルミバリス)	14テスト×3	292846
240140	ルミバリス CA19-9-N 免疫反応カートリッジ	2020/09/22	2019/06/30	UDX9063	1	0	1	免疫(ルミバリス)	14テスト×3	292655

試薬情報(試薬マスター)の更新履歴を管理

試薬マスターの更新履歴を管理していますので、納入業者の変更、価格改定があっても、過去の入出庫情報に影響はありません。集計時は、更新前後の情報を区別して集計します。

試薬管理システム仕様

- 管理可能な試薬種類 1,000,000 件

<低コスト導入>

- 検査システムのサーバー、バーコードリーダー、ラベルプリンタ等のハードウェアを兼用できますので導入コストを抑えられます。

<安全な運用>

- 試薬管理システムのデータベースは検査システムとは独立しています。任意のタイミングでデータベースのバックアップ、復元が可能です。

<確実な情報>

- 操作ごとに操作担当者のイニシャル入力を要求します。操作内容は全てログに記録されます。



注文登録 バーコード読込、試薬管理ID入力、リスト選択から注文する試薬を登録します。

 ※現在注文中であれば、追加注文であるか確認メッセージを表示します。
 規定在庫数を下回った試薬は、別枠に「要発注試薬」として表示されます。

発注処理 注文登録している試薬を業者別の発注書に印刷し発注します。

注文履歴 指定期間の試薬の注文履歴を照会・印字します。

入庫処理 バーコード読込、またはリスト選択により納品された試薬をシステムに登録します。
 ※登録された試薬には、使用単位で試薬管理ラベル（バーコード付）を貼付します。

入庫一覧 指定期間の試薬の入庫履歴を照会・印刷します。

出庫処理 GS1-128バーコード、または試薬管理ラベルのバーコードを読み込みますことで出庫します。
 ※出庫処理後、残りの在庫が規定数以下、または在庫がなくなると、注意を促します。

出庫一覧 指定期間の試薬の出庫履歴を照会・印刷します。
 使用開始日、使用終了日、使用状況を任意に変更できます。

棚卸処理 指定期間の入出庫及び現在の在庫を照会・印刷します。購入金額の集計も行います。

在庫一覧 現時点の入庫数、在庫数、残りの内訳、及び使用期限を照会・印字します。

使用期限管理 使用期限が切れた試薬、使用期限まで残日数が少なくなった試薬を検索します。

LotNo管理 指定期間の試薬の入出庫数、及び現在の在庫、残りの内訳を照会・印字します。